

まち・ひと・しごと創生甲佐町人口ビジョン(改訂版) 【概要版】

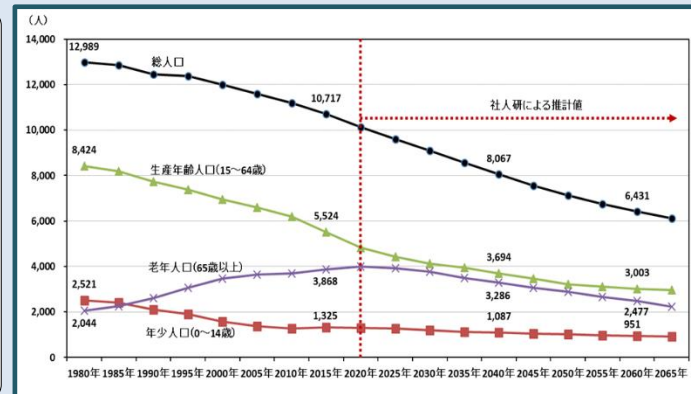
人口の現状 [2015 年(平成 27 年)人口 10,717 人]

対象期間と目標年度

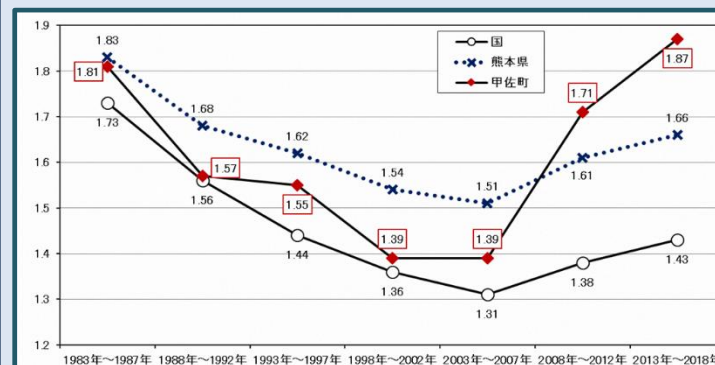
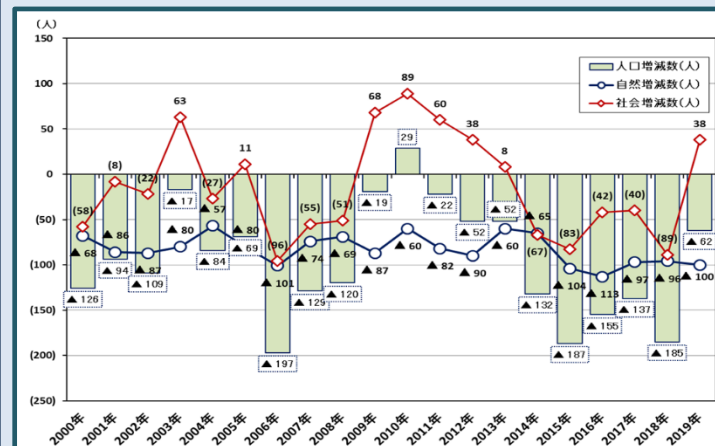
「まち・ひと・しごと創生甲佐町人口ビジョン（改訂版）」の対象期間は、2021 年(令和 3 年)から 2060 年(令和 42 年)までとします。

人口動向

- 本町の人口は、1980 年（昭和 55 年）の国勢調査以降減少を続け、2015 年（平成 27 年）には、10,717 人と 35 年間で約 2,200 人、17%減少しています。
- 年齢 3 区分人口では、1980 年（昭和 55 年）から 2015 年（平成 27 年）までの 35 年間で、年少人口比率は約 36%減、生産年齢人口比率は約 20%減、老年人口は約 2.3 倍増など、少子高齢化が急激に進行しています。



- 自然増減と社会増減を合計した人口増減を見ると、2000 年（平成 12 年）以降、人口増の年（2010 年（平成 22 年））もありましたが、自然減が大きいため、総数で見ると人口減少の傾向が続いています。
- 転出入先や通勤・通学先においても熊本市が圧倒的に多いことから、転出せずとも通勤・通学は可能と想定され、定住を促す施策を講じることで、転出者を減らし、さらには、転入者を増やすことは可能であると考えられます。こうしたことから、20～30 歳代を中心とした若年層を対象として、進学、就労しても甲佐町から通学・通勤できる環境づくりが重要と考えられます。
- 本町の合計特殊出生率は、それまで 1.39 まで減少していたものの、2013 年（平成 25 年）から 2018 年（平成 29 年）時点では、1.87 と、国、県を上回る水準にまで回復しています。



	(単位:人)				(単位:人)		
	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者		総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者
当地に常住する就業者・通学者	5,606	5,219	387	当地で従業・通学者者	4,381	4,783	198
自市町村で従業・通学	2,756	2,655	101	自市町村に常住	2,756	2,655	101
他市区町村で従業・通学	2,830	2,547	283	他市区町村に常住	2,152	2,088	93
県内	2,782	2,505	277	県内	2,175	2,082	93
熊本市	1,419	1,229	190	熊本市	815	784	31
八代市	51	43	8	八代市	44	44	
人吉市	1	1	-	玉名市	6	6	
玉名市	3	1	2	山崎市	6	6	
山崎市	7	7	-	菊池市	5	5	
菊池市	16	15	1	宇土市	79	77	2
宇土市	64	56	8	上天草市	4	4	
上天草市	1	-	1	宇城市	179	175	4
宇城市	191	190	1	阿蘇市	1	1	
阿蘇市	5	5	-	天草市	2	2	
天草市	2	2	-	合志市	16	16	
合志市	22	20	2	美里町	286	273	13
美里町	141	141	-	玉泉町	2	2	
玉泉町	1	1	-	長洲町	2	2	
大津町	31	31	-	和木町	1	1	
菊陽町	37	37	-	大津町	8	7	1
西原村	12	12	-	菊陽町	9	9	
南阿蘇村	3	3	-	西原村	3	3	
御船町	382	318	64	南阿蘇村	2	2	
益良町	224	224	-	御船町	366	346	20
益城町	122	122	-	益良町	101	92	9
山崎町	41	41	-	山崎町	140	131	9
水川町	3	3	-	山添町	90	86	4
芦北町	2	2	-	水川町	4	4	
津金木町	1	1	-	芦北町	1	1	
他県	34	29	5	錦町	3	3	
				他県	16	16	

目標人口 [2060 年(令和 42 年)人口 8,300 人]

人口推計

このまま何もしなければ…2060年(令和42年)人口は6,431人まで減少

人口減少の影響

- ◆専門医療機関の進出などが停滞する ◆農業や地元中小企業などの担い手不足、後継者不足が進む
◆保育園、学校の統廃合などが出てくる ◆介護職員や建設業などでの担い手の確保が難しくなる
◆空き家の増加や土地の荒廃の進行 ◆身近な商店の閉鎖による中山間地域での買い物弱者の増加 など

目指すべき将来の方向

基本的 考え方

- ◆2030 年(令和 12 年)をめどに人口の社会減を解消することを目指す
- ◆合計特殊出生率を 2030 年(令和 12 年)から 2.37 まで上昇させることを目指す

施策の 方向性

- ◆安定した就労機会の確保及び就労環境の向上
- ◆人口流出を防ぎ、流入促進を図る取組の推進
- ◆結婚・出産・子育てまでの一貫した支援

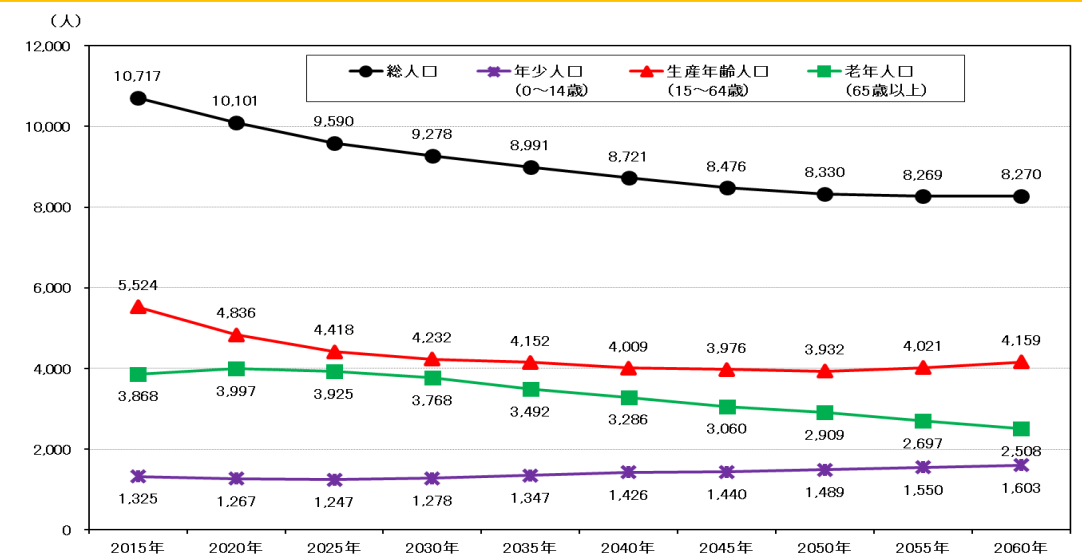
人口の将来展望

假定値

- ◆合計特殊出生率
合計特殊出生率が2030年(令和12年)から2.37
◆社会移動
2030年(令和12年)から社会移動がゼロ

将来展望

- ◆2060 年(令和 42 年)人口 8,270 人



		実績値	推 計 値								
		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
人 口 （ 人 ）	総 人 口	10,717	10,101	9,590	9,278	8,991	8,721	8,476	8,330	8,269	8,270
	年少人口 (0～14歳)	1,325	1,267	1,247	1,278	1,347	1,426	1,440	1,489	1,550	1,603
	生産年齢人口 (15～64歳)	5,524	4,836	4,418	4,232	4,152	4,009	3,976	3,932	4,021	4,159
	老年人口 (65歳以上)	3,868	3,997	3,925	3,768	3,492	3,286	3,060	2,909	2,697	2,508